

MGF は、☑神第一主義、☑キリスト中心主義、☑聖霊主導主義の教会

礼拝黙想 Meditating on Worship

「わたしたちが賛美歌を歌う時、その口はキリストの口になる。」(マルティン・ルター)

A 「花嫁よ。あなたの唇は蜂蜜を滴らせ、舌の裏には蜜と乳がある。衣の香りは、レバノンの香りのようだ。」(雅歌4:11)

賛美のレッスン

神をほめたたえよ。—詩篇 150:1

詩篇 150 篇は素晴らしい賛美の詩であるだけでなく、賛美することを教えられる詩でもあります。それは、どこで賛美すべきか、なぜ賛美すべきか、どのように賛美すべきか、また、どんな人が賛美をささげるべきかを教えてください。

私たちは、神の聖所と御力の大空で賛美します(1 節)。どんな場所にいたとしても、そこは賛美にふさわしい場所です。神がすべてを創造されたからです。

私たちはまず、神の大能のみわざを賛美します。また、神が神であるがゆえに賛美します。この作者は、神の「すぐれた偉大さ」(2 節)を賛美しました。全権を掌握している創造主は、全世界を支え維持しているお方です。

私たちは大声で賛美します。静かな声でも賛美します。あるときは熱狂的に、またリズムに乗せて、大胆に、恥ずかしがらずに、即興的に、またあるときは、ささやくように…。つまり、賛美の方法は時と場合によってたくさんあります(3-5 節)。

聖書は「息のあるものはみな」賛美せよと語ります(6 節)。若い人も老人も、裕福な人も貧乏な人も、強い人も弱い人も、生きとし生けるものすべてです。

神のみこころは、神がいのちを与えられたすべての被造物が、そのいのちを使って神の力と偉大さに感謝を表すことです。

賛美とは、栄光に満ちた永遠に王であられる神に、私たちの熱い感謝を表すことです。

賛美は心から溢れ出る喜びだ。

デイリーブレッド

賛美って何? 「自己満足や自己顕示欲の罠に注意」

賛美とは何か?

一言で言うならば、賛美とは、「神をほめたたえること」です。

1. 神をほめたたえる

賛美を一言で言い表すならば、「神をほめたたえる」ことであると言えるでしょう。私たちは賛美と聞くと音楽や歌を真っ先に連想しますが、実は音楽に限らないのです。

音楽以外でも、私たちの賜物、奉仕、生き方を通して神を賛美することはできるのです。ただ、旧約聖書の時代から人々は音楽や歌声を通して神をほめたたえていました。ですので、狭い意味では「神に向かって奏でる音楽や歌」を賛美と言います。音楽自体、もともとは神を賛美するためにあるもので、賛美の歴史とともに音楽も発展してきました。

また、私たち人間は、神の栄光を現す存在として造られました。

「主をほめたたえよ。すべての造られたものたちよ。主が治められるすべてのところで。わがたましいよ。主をほめたたえよ。」

聖書(詩篇 103:22)

神を賛美することは人間にとって本来的な喜びであり、神も人間に賛美を求めていて、それを喜ばれます。

また賛美は、人間から神へのささげものとなり、賛美を通して、神の存在の確かさを確信することができるのです。

「それなら、私たちはイエスを通して、賛美のいけにえ、御名をたたえる唇の果実を、絶えず神にささげようではありませんか。」

聖書(ヘブル人への手紙 13:15)

けれども、あなたは聖なる方 御座に着いておられる方 イスラエルの賛美です。聖書(詩篇 22:3)

2. 賛美音楽のジャンル

賛美は神をほめたたえることだから、それにふさわしい格調高い音楽でなければいけないのかと思ってしまうのですが、そんなことはありません。聖書を見ると、様々な楽器を用いて賛美が捧げられている様子が伺えます。

「ダビデとイスラエルの全家は、豎琴、琴、タンバリン、カスタネット、シンバルを鳴らし、主の前で、すべての杉の木の枝をもって、喜び踊った。」

聖書(2 サムエル 6:5)

賛美は形式やジャンルの問題ではありません。

どんな形であれ、神に喜びを表すことが賛美の原点です。どの音楽が賛美

にふさわしいかは、結局のところ人間の主観的な感覚なので、好みの問題です。ただ、世代や個人の間で、賛美の感覚にギャップがあると思いますので、教会で一緒に賛美をする時には、互いへの配慮が必要となってくるでしょう。

3. 賛美の姿勢

賛美を神にささげることが人間にとっての喜びであることは確認しましたが、それは、賛美の美しいメロディーに聞き惚れるという意味でもなく、また、人前で自分の楽器のテクニックや歌の上手さを表現することで得る自己満足感でもありません。

私たちは、神をほめたたえることよりも、自分に注目してほしいと思ってしまうのです。また、賛美をする同じ口から、人の悪口も出て来てまいります。私たち人間は、どうしても悪の方向へ傾いてしまう弱い存在であることも自覚する必要がありますでしょう。

「私たちは、舌で、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌で、神の似姿に造られた人間を呪います。同じ口から賛美と呪いが出て来るのです。私の兄弟たち、そのようなことが、あってはなりません。」

聖書(ヤコブの手紙 3:9-10)

神の気持ちになって考えてみた時、裏では神の喜ばれないことを口にし、一方で礼拝の中で「神様素晴らしい」と言われても、白々しく感じてしまうのではないのでしょうか。

ですので、賛美をするよりもまず、神の

前に罪を告白し、悔い改める必要があるでしょう。そして、自分の唇をきよめ、純粋に神という存在を喜び、神がくださった数々の恵みを賛美できるように祈り求めましょう。

自分が賛美する場合でも、誰かの賛美を聞く場合でも、賛美をささげる人と同じように神をほめたたえる心を持つことが大切なのです。

まとめ

賛美とは、「神をほめたたえること」です。

賛美とは、神をほめたたえることである。

どんな音楽でも、神を賛美することができる。

賛美をする時は、自己満足や自己顕示欲に注意し、純粋な賛美の心を持つように祈ろう。

ww.biblelifecoach.net より

「クリスチャンになった当初、私は自分だけで信仰者としてやっていけると思っていました。部屋にこもって神学書を読めば、教会に行く必要などないだろうと…。私は教会で歌われている賛美歌が大嫌いでした。私には質の余り良くない歌詞が、それよりさらに質の悪い調子っぱずれなメロディーに載っかっているものとしか聞こえなかったのです。しかし後に教会に集うことに大きな意味があることを知るようになりました。見た

目も教育レベルも全く違う人々に出会うにつれ、最初私の中にあっただうぬぼれはじょじょに剥がされていきました。賛美歌は、たとえ音楽的には調子っぱずれであったとしても、心をこめて歌われていたことを、そして隣の席でゴム底の靴をキキイいわせていた老人は、実は素晴らしい神の人であり、私はその靴をみがく資格すらない者であったことを知ったのです。教会は人をひとりよがりなうぬぼれから引き出してくれるのです。」(C・S・ルイス)

「教会や集会に出掛ける人全てが真実に祈るとは限らないし、大声で歌う人が最も神を賛美しているとは限らない。不機嫌な顔をしている人が最も正直な者とは限らない。」(チャールズ・スポルジョン)

「賛美と賛美歌は違うのであって、賛美歌を歌って、実際にいい気持ちだということや次々に歌い続けたりするのは、本当の賛美の生活ではない。賛美というのは、困難や苦しみの中にあっても、神の勝利を信じることである。」(榎本保郎)

「キリストを賛美すること(プレイジング)の本質は、キリストを重んじること(プレイジング)です。」(ジョン・パイパー)

「あらゆる幸せと全きへの最も確実で、最短の道は何かと聞かれたなら、誰でも全ての出来事を神に感謝し、賛美する習慣を身につけることであると答えるべきである。どんな不幸と思えることも、そのことで神に感謝し、賛美するなら、それは祝福へと変えられていく。」(ウィリアム・ロー) Ω

<お知らせ Announcement>

★10月29日(日)午後 ムービーフェローシップ

MGF はキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

「教会 [マラナサ・グレイス・フェローシップ (略称: MGF)] はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」(エペソ 1: 23)。「あなたがた [MGF] は、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ 2: 10)。